



ウェルビー

新入職員紹介



今春、新たに 23 名が、医療法人南労会の職員として加わりました。
4 月 1 日から新入職研修を受講し、職員としての心構えや基礎知識を学び、
患者さん・利用者さんから信頼される職員になれるよう真剣に取り組んでいます。



医療安全について (BLS 研修)



経管栄養法研修
(注入食の実際・経管栄養の種類と栄養チューブ挿入)

新型コロナウイルスワクチン 医療従事者優先接種



受付

中待合



問診



移動

3月15日(月曜日)より、紀和クリニックにおいて、新型コロナウイルス感染症ワクチンの医療従事者向け「優先接種」が始まりました。

医師が健康状態やアレルギーの有無などを確認した後、看護師が対象者にワクチンを接種。副反応に備えて救護班が待機し、15分～30分の経過観察時間を設けています。

感染防止対策を図りながら引き続き、安心・安全で円滑なワクチン接種を実施していきます。



注射



経過観察



副反応に備えて常に待機しています

消化器外科

「消化器外科」とは、人が生きていくのに必要なエネルギーを得るために食べた物を、消化・吸収・排泄・代謝・貯留する「消化器」が病気になった場合、手術によって治療する診療科です。

消化器は、食道、胃・十二指腸、小腸・大腸、肛門、肝臓、脾臓、胆道、膵臓という領域に分けられます。

◆高度な技術を要する

専門的な手術治療も行っています

良性疾患から悪性疾患まで、一般・消化器外科領域の疾患に対応しています。

◆悪性疾患

消化器がん(食道、胃、大腸、肝臓、膵臓、胆道)

GIST (消化管間質腫瘍)など

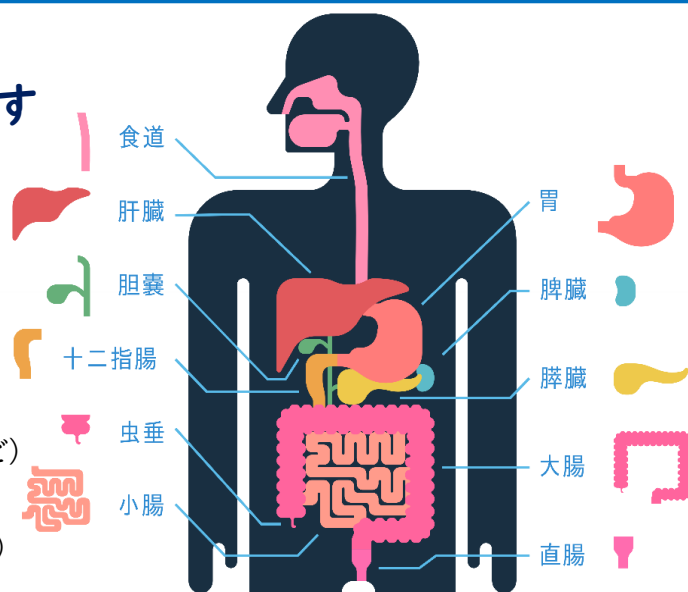
◆良性疾患

肝胆膵疾患(胆のう炎、胆管炎、胆のう結石、総胆管結石など)

ヘルニア(そけい、大腿、腹壁癒痕など)

消化管良性疾患(虫垂炎、憩室炎、消化管穿孔、腸閉塞など)

肛門疾患(痔核、脱肛、痔ろう、裂肛など)



和歌山県立医科大学附属病院で診療を行っている医師が
専門的な知識や技術をもって診療にあたります



山上 裕機 和歌山県立医科大学(1981年卒)

専門分野 肝胆膵外科・消化器外科

資格 ・和歌山県立医科大学外科学第2講座 教授 ・日本外科学会専門医・指導医・代議員
・日本消化器外科学会専門医・指導医・評議員・総会会長(第75回)
・日本肝胆膵外科学会高度技能指導医・理事(副理事長)・評議員
・日本膵臓学会認定指導医・理事・評議員 ・日本臨床外科学会評議員
・日本がん治療認定機構暫定教育医 ・日本バイオセラピー学会評議員
・日本メディカル AI 学会 顧問 ・医学博士

| 診察日:第1、第2火曜日 午後



中井 智暉 和歌山県立医科大学(2015年卒)

専門分野 消化器外科・上部消化管外科

| 診察日:月・木曜日 午前

教えて！放射線技師さん



ボリビアと聞いて、どこだろう？ 医療機器もないのではと考えられた方もおられるかもしれません。今回は南米ボリビアの医療と健康についてご紹介します。

ボリビアの放射線技師養成学校で

Q:ボリビアの病院はどんな感じ？

A:ピンとキリの差がとても激しいのが現状です。仕切りもない大部屋に 20 近くのベッドが並んでいるような施設もあります。反対に、富裕層向けの病院はホテルのような病室と新しい機器を使っています。日本以上に経済力の有無で受けられる医療に差が出ます。また地域格差も日本よりずっとありました。

Q:ボリビアの医療機器は？

A:日本は対人口あたりのCT・MRIの台数が世界一位です。紀和病院にも優れた 3T の MRI や CT があり、日本では先進的検査ではなく一般的な検査になっています。ただそれは日本での話でボリビアでは MRI は珍しく数える程度しかありません。

やはり高価な医療機器などはまだまだ足りていないのが現状です。私のいた学校では 35 年以上前のレントゲン装置をどうにかこうにか使っていました。法律も日本のように厳しくはない為、整備不良の機器を使っていることもあります。いい意味ではとても遅い、けれどもあんまり撮影はされたくないなと思っていました。

Q:ボリビア特有の病気はあるの？

A:ボリビアにはシャーガス病という風土病があり、土壁に潜む虫から感染する病気で、じわじわと心臓を肥大化させる病です。他にも狂犬病が撲滅できておらず、野犬も多いので日本とは違った不安もありました。身近な危険では衛生観念がしっかりしていないので、露天で売っている食べ物は赤痢や食中毒の危険が高く、火の通った物以外は口にしないようにしていました。ただ欲望に負け美味しいフルーツジュースは飲んでいました。

Q:ボリビアではコロナはどんな対応をしているの？

A:コロナによる混乱は日本の比ではありません。一時、外出許可は週に一回で、外出できる曜日は国民ナンバーの末尾で決められ、それ以外で外出すると罰金が取られていました。その措置に対してデモも起きました(ボリビアではよく政府に対してデモ行進などを行います)。挨拶で頬にキスをする文化もあり日本より他者と接触する機会が多く、文化的にも接触感染の可能性が高くなります。死者数も多く現地の友人の周りでも亡くなられた方がいます。感染リスクを減らすため接触を避けるようになって、初めは気恥ずかしかったハグも人と人との繋がりを示すとてもいい文化だったと実感しました。

ボリビアでも一年前はハンドソープが売り切れていました。せっかく買っても効果を発揮するためには正しく使わないと意味が無いため帰国直前に生徒に手洗い講習を行いました。今の生活が日常になりつつありますが、基本を忘れず、手の甲や指などもしっかりと手洗いをしてください。ハグや握手はできませんが、手洗いは国を問わず誰でもできる新しいおもしろいやり方だと思います。ボリビアに興味を持って頂く機会になれば幸いです。

海外青年協力隊として活動 してきました



笹川さんとウユニ塩湖



放射線技師
笹川恵美

常勤医師のご紹介

小牧 克守 (こまき かつもり) 医師

【略歴】近畿大学医学部(平成7年卒)



高知県で5年間の勤務を行い、2021年4月より再び紀和病院で勤務させて戴くことになりました。この写真をご覧になってお分かりのようにダイエットには未だ成功していません。こんな医師ですが、よろしくお願いいたします。

和田 盛人 (わだ もりと) 医師

【略歴】弘前大学医学部(平成16年卒)



患者様の体の状態、受ける手術の種類などから判断して、最適と思われる方法で麻酔を行います。手術後も、患者さんの痛みや吐き気がなく、快適に過ごしていただけるように手助けします。

新任医師

4月1日 小牧 克守 (糖尿病・代謝内科)
4月1日 和田 盛人 (麻酔科)
4月1日 中井 智暉 (消化器外科)
4月1日 南方 美由希 (リハビリテーション科)
4月6日 山上 裕機 (消化器外科)
4月6日 中嶋 万季 (皮膚科)
4月7日 石崎 歩 (整形外科)
4月13日 三上 幸夫 (リハビリテーション科)

退職医師

2月24日 光山 孝慶 (整形外科)
3月31日 林部 章 (外科)
3月31日 岩津 理世 (皮膚科)

紀和クリニックではキャッシュレス決済のお取り扱いを開始しました

キャッシュレス決済 導入

クレジットカード (タッチ決済対応)



電子マネー (ICカード/スマホ)



流通系プリペイド



デバイス/OS



後払い



※詳細は会計窓口にてご確認ください。



Hals Human Active Life Support 株式会社 はるす



地域密着特定施設（介護付きホーム）はるすの郷・神野々

介護付きホームとは・・・地域密着型サービスは要介護者様が住み慣れた地域（橋本市）で介護サービスを受ける事が出来るようにと設立されました。地域の現在の状況にあわせ、柔軟な体制を取る事が出来る為、ご家族の方々にも安心頂けます。介護付きホームは、要介護1～5の方が対象の介護施設で、入居定員は29名。これにより、一人一人と向き合ったサービスを提供する事が出来ます。

🏠 橋本市神野々1083-1 ☎ (0736)39-7707

見て 知って 選ぶ

看護補助者さん 大募集！



- ☑ パート・フルタイム働き方を選べます
- ☑ 交通費は月 5 万まで支給（＊条件があります）
- ☑ 橋本駅～病院間、当院職員用バス運行
- ☑ 患者さんのために！やりがいのある仕事です

Q 未経験でも応募できますか？

A はい、未経験者もたくさん働いています。

Q 大学生、専門学校生でも応募できますか？

A はい、応募可能です。

Q 30 代、40 代、50 代でも応募できますか？

A はい、パート勤務で自分の時間を有効活用することもできます。

Q 勤務時間や曜日を変更できますか？

A はい、変更可能です。



まずはお気軽にお問い合わせください。

面接はご都合に合わせて実施いたします。

【見学随時受付中】

☎0736-34-1317 （総務部 人事課）

FMはしもと
81.6 MHz

「紀和病院のきわめびと」



「紀和病院のきわめびと」として、
 地域のみなさんへ旬な医療の話題などを通して、
 私たち南労会の想いをお届けしてきました。



2月

紀和クリニックより災害支援ナース 山谷侑子 看護師が出演。
 災害支援ナースになったきっかけや役割について、服薬中の患者さんに向けて災害への備えのアドバイスなどお話をしました。
 紀和クリニックより形成外科 坂田康裕 医師が出演。
 形成外科の紹介、対象となる疾患について説明します。
 後半は主な疾患の治療方法について具体的にお話をしました。

3月

総務部人事課より産業カウンセラー 山本寛子が出演。
 メンタルヘルス対策への支援、キャリア形成への支援、人間関係開発・職場環境改善への支援についてお話をしました。
 理事長 佐藤雅司 医師が出演。
 この2年を振り返りながら、これからの医療や病院についてお届けしました。



FMはしもと
81.6 MHz

ラジオ の電波から！



2年に亘りありがとうございました♪これまで聴いてくださった

リスナーの皆様&応援くださった皆様、全ての皆様に感謝をこめて (*^_^*)





しらさぎ台クリニック
山内耳鼻咽喉科
Shirasagidai clinic yamauchi jibinkouka

院長 山内 一真 先生

紀和病院・病院スタッフの方々に関わるようになったのは、ある患者さんを通してです。新型コロナに感染し、大阪の病院に入院、気管切開を受け、人工呼吸管理となり、まさに命が危ぶまれるところから改善し、コロナ陰性となったところで紀和病院へ転院された患者さんがおられました。この患者さんが、コロナ陰性にも関わらず、遅発性の高度難聴をきたし、周囲の人々と、ほとんどコミュニケーションが取れなくなったとのことで、紀和病院側から、耳鼻咽喉科的な診察・治療についての往診依頼をいただき、承諾したのがきっかけです。私自身、コロナ感染後の難聴患者さんなんて診たことなかったもので、文献を検索し、その時にできる最善の治療を紀和病院スタッフにお伝えし、治療したところ、当患者さんの聴力がみるみる改善し、周囲の方と、コミュニケーションが取れるまで回復いたしました。そのような経験があつてから、紀和病院に入院されている患者さんで、耳鼻咽喉科領域の不調を訴える場合には当科に紹介していただき、往診に赴くという関係が続いています。まさに、病院と診療所の「地域の架け橋」を実践しているような感じですね。大きな病院では、かゆいところに手が届かなくとも、診療所なら届くこともあり、お互いに補い合うような連携プレーが大切だと思う次第です。

私は、隅田町下兵庫に生まれ、育ち、和歌山医大入学・卒業後は同大耳鼻咽喉科に入局、和歌山県下の関連病院で勤務した後、2年間スイス・チューリッヒ大学へ留学、帰国後、和歌山医大・講師をへて、2015年10月に、しらさぎ台クリニック山内耳鼻咽喉科を開業いたしました。勤務医時代に学んだ、耳、鼻、のど、頸部の疾病に関する知識を生かし、耳鼻咽喉科診療を日々実践しております。また手術に関しても、耳、鼻、のど、頸部において部位に偏ることなく、ひととおり経験しており、今現在、手術は行っていないですが、こういった状態が手術適応なのを判別ができますので、適切な医療機関への紹介が可能です。

趣味としては大きく2つあります。一つは音楽を聴くこと。洋楽のロックが好きで、小学生高学年の頃から聴いていて、今も飽きずに聴いているのと、大学生の頃から聴き出した1950～1960年代のジャズもいまだに好んで聴いています。もう一つは、化石収集。特に、アンモナイトと三葉虫を好んで集めています。あと、最近では子供達（小学2年と幼稚園年中）と一緒にアニメを楽しむ機会が多いです。アニメと映画の両方を観た「鬼滅の刃」とか、「呪術廻戦」など、楽しく観させていただいています。

まだまだ新型コロナウイルスに翻弄される日々ですが、紀和病院の方々とさらに連携して、地域の皆様により良い医療を提供できるよう努力していききたいと思います。

*本文は院長 山内 一真 先生よりご寄稿いただきました。



しらさぎ台クリニック
山内耳鼻咽喉科

和歌山県橋本市しらさぎ台 12-13 TEL 0736-26-4151



「病院機能評価 3rdG:Ver2.0」へ更新認定

当院は財団法人医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、2021年2月5日付で「機能種別版評価項目 3rdG:Ver.2.0」への更新が認定されました。

病院機能評価とは、医療の質や安全に対し、財団法人医療機能評価機構が、第三者の立場で客観的に評価・分析し、審査の結果、認定基準に達していると認められた医療機関が認定病院として認定証が発行されます。

今後ともよりいっそう質の高い医療を提供し、患者さんに安心して受診していただけるよう職員一同取り組んでまいります。